

スポーツ たちかわ

NPO法人
立川市体育協会

〒190-0015 立川市泉町786-11

立川市泉市民体育館内

TEL・FAX 534-1483

発行責任者 河内 勝 正

編集責任者 木戸口 辰 雄

e-mail t-taikyo@amber.plala.or.jp

東日本大震災により被害を受けられました皆様に
心よりお見舞い申し上げます。

—— 心から笑顔が訪れる日を、立川からも発信しよう ——

第65回立川市民体育大会

開会式 6月19日(日)

市民体育大会も第65回という節目の開会に向けて各地区体育会の意気込みを感じる開会式になりました。

選手集合の第二体育室には昨年の千葉国体での取り組みなどのDVD放映が流され、多摩国体に向けて意識の高揚に努めていた、また第一体育室会場には東京多摩国体のマスコットキャラクター「ゆりーとくん」が、来賓・役員・選手達を出迎え大きな歓声と共に入場行進がスタート、演奏は、國府優紀子先生の指揮にて昨年度、東京都中学校吹奏楽大会で銀賞を受賞された、第一中学校吹奏楽部員三十数名が見事な花を添えてくれました。大会宣言に先立ち、東日本大震災で亡くなられた皆様のご冥福を祈り黙祷後、大会会長清水市長からの挨拶があり、続いて昨年度の総合優勝・準優勝等、優勝旗・優勝杯の返還と各種対抗競技の優勝旗が返還され今年の対抗競技の始まりを告げる選手宣誓が昨年度の覇者、錦町体育会を代表して山谷茜さんが各体育会の団旗を従えて声高らかに競技を通して友情と目標高く連覇することを誓いますと宣言した。

NPO法人立川市体育協会より特別功労賞が永年副会長を務めた高橋栄氏に贈呈され次に各団体推薦の功労賞・社会体育優良団体表彰・優秀選手表彰が贈呈されて式典は終わり、第一中学校吹奏楽部によるエキジビションにて、世界に一つだけの花などみんなに知られた名曲が披露され参加者より喝采を得た。



2011 第1回

立川市駅伝競走&

小学生ロードレース大会開催

1月16日(日)



(新庁舎―立川警察署―花とみどり文化センター―自治大学校―新庁舎)

新市庁舎落成を記念して市民大会駅伝と新設の市民参加による駅伝に加え、小学生によるロードレースが同時開催され早朝から多くのランナーが参加する中、清水立川市長の号砲でそれぞれ一制にスタートしました。

10時スタートの駅伝には観衆とカメラマンが待ちかまえる中、一人一周3.2kmを6人で襷をつなぎ、ゴールまでの激戦が繰り広げられ、11時スタートの小学生によるロードレース「2Km」には、サッカークラブ、野球チーム、各学校の陸上クラブなど多く参加してくれました。

競技終了後、市庁舎の前で各競技別による成績発表と表彰式が行われました。

第1回大会でしたが大きなトラブルもなく終えることが出来、来年以降につながる希望に満ちた大会でした。



第64回

立川市民体育大会閉会式

平成23年2月12日(土) 於：泉体育館

雪雨の中、恒例の閉会式が挙行された。副会長の開式通告の後、12地区16種目の成績発表され、優勝旗・優勝杯授与、5年連続・3年連続優勝、ジュニア地域推進事業優良選手表彰等が行われた。

大会会長清水立川市長から本年度は市制70周年を迎え新庁舎への泉町移転。また、駅伝大会が新庁舎周辺という市内のど真ん中で盛大に開催された(従来は多摩川沿いで実施)ことで体育協会の尽力へお礼の言葉と平成25年の東京国体に向けて稽古やトレーニングに励み、立川の陸上競技レベルの向上に努められるように要請を頂いた。主催者・来賓の方からは誰もが、いつでも、どこでも、安全に、スポーツができる環境づくりに努め、スポーツが出来ることに感謝したいとお話があった。

優勝した錦町体育会は6連覇、立派としか言いようがない。関係者の皆様には本当にご苦勞様、おめでと

うと申し上げたい。準優勝は砂川体育会、第三位は幸町体育会が表彰された。
市長表彰(5年連続優勝)の砂川体育会水泳男子・錦町体育会バレーボール男子・幸町体育会バドミントン男子の3チーム。体協会長表彰(3年連続優勝)は若葉町体育会ミニテニス・同ソフトボール女子・同陸上女子・砂川体育会卓球の4チームがそれぞれ表彰された。

今後とも、各地域は勿論、ジュニア育成のレベルアップも含め、市を代表する選手が多く育つよう皆様のご協力をお願いしたいものです。



競技団体紹介 空手道連盟

皆様もご承知とは思いますが、現在の空手は沖縄の唐手を発祥の地とし、武器を持たず素手のみで戦うスポーツです。又、その鍛錬課程を経てその汗の中から人間完成を目指しており、また立川市空手道連盟は、この様な同じ志を持った団体で構成されており、昭和28年に結成され、今年で結成58年になります。加盟団体は16団体で、会員総数は約700名になり、主な活

動は年3回の大会「立川市空手道選手権大会(個人戦、総出場者数約500名)」「ジュニアスポーツ大会(団体戦、総出場者数約400名)」「市民体育大会(個人戦、総出場者数約500名)」です。技術の向上を目指し審判員講習会の開催も行っております。



京国体には役員を派遣する予定になっております。
立川市空手道連盟
会長 須崎八朗

羽衣町体育会 創立60周年記念式典

去る2月6日(日)午後5時より ザ・クレストホテル立川にて羽衣町体育会創立60周年の記念式典が盛大に開催されました。清水市長、青木前市長を始め、国会、都議会、市議会の議員、NPO法人立川市体育協会河内会長及び副会長、加盟団体、羽衣町各団体等、各方面より約200名のご来賓の出席を頂きました。

日頃お世話になって居ります各団体に感謝状を贈呈し、その後ご来賓の方々から体育会60年の伝統と歴史に大きな賛辞が贈られました。

祝賀会後半のアトラクションでは日本クラウンの女性歌手の歌謡ショーで大いに盛り上がりご出席者一同大喜びでした。

長い間会長を務めて頂きました遠藤会長勇退記念となる素晴らしい会でした。

羽衣町体育会 会長：市川恒由



「当会の定期総会にご来賓ならびに会員の皆様のご出席を賜り、誠にありがとうございます。平成22年度事業は、皆様のおかげをもちまして、恙なく終了いたしましたし、事業会計においても、若干のプラスとなりました。」

特に25年ぶりに新庁舎を起点とした駅伝大会では、行政並びに立川警察、立川・国立地区交通安全協会又各団体等に多大なるご尽力をいただきましたこと改めてお礼申し上げます。

23年度は、国体関連事業の推進、また、市民マラソンの構築・泉市民体育館等体育施設指定管理者受託へ向けた体制構

築、地域スポーツクラブの育成推進等を事業計画として提案させていただきます。これらの事業を積極的に推進させることが、当会の将来基盤構築として極めて重要なことと確信しております。何卒、皆様の温かいご理解を賜りますようお願い申し上げます。総会開催にあたり挨拶といたします。」

(河内会長挨拶)

清水市長始めご来賓の祝辞に引き続き、定期総会に移り、議長にトライアスロン協会の浅見義明氏が選出され議事進行、議案は全て承認されました。

新年賀詞交歓会

「本日は、お忙しい中、ご来賓の皆様をはじめ、多くの会員の皆様にご臨席を賜り、立川市体育協会賀詞交歓会が盛大に開催できますことに衷心より厚くお礼申し上げます。

お蔭様で、第64回市民体育大会も皆様のご支援のもと、残すこと1月16日の駅伝・小学生ロードレース大会のみとなりました。この大会は、当初の立川駅周辺コースから、昭和60年に、多摩川ジョニングコースに変更となり、観客がまったくいない状況でこれまで行ってまいりました。この度、行政・立川警察署等のご理解とご尽力で、25年ぶりに新庁舎を起点に箱根駅伝予選会コースの一部を使用した市中で開催できることになりました。多くの市民に、一生懸命走る選手の雄姿を見ていただけるものと期待するとともに感謝の念にたえません。市民大会が目的としている『広く市民の間にスポーツを普及しスポーツ精神を高揚して市民の健康増進と向上をはかり、市民生活を明るく豊かにする』に必ずや繋がるものと確信しております。

本年は、これまでの体協事業とともにスポーツ祭東京2013に向けた立川市実行委員会活動を含め、更なるご支援・ご協力を皆様をお願いすることになるものと存じますが、これまで同様ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。」

(河内会長挨拶)

清水庄平立川市長からも立川市体育協会に市民の健康を支える意味で大いに期待をしています等、激励を頂いた。

和やかに各テーブルにおいて歓談が続き抽選会にてゲットしたお花を抱えながら散会となった。



立川市
清水庄平市長

NPO法人立川体育協会

定期総会

5月14日(土) 会場 市民会館



●留任・新任役員

【留任役員】

会長 河内 勝正
副会長 岡崎 誠

専務理事 坂下 香澄
常務理事 堀 保章

【新任役員】
副会長 石川 敏浩 (柏町)

常務理事 横田 邦夫 (陸上)

常務理事 中村 清 (柴崎町)

常務理事 永島 康雄 (錦町)

常務理事 尾崎 精一 (若葉町)

会計 澤部 範儀 (副会長兼務)

宮木 博司 (山岳)

第64回 市民体育大会

地区対抗種目得点表

種目	地区名	富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川地区体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球		5.5	3.0	8.0	3.0	5.5	3.0	5.5	9.0	10.0	5.5	11.0	3.0
ミニテニス		7.0	3.0	10.0	3.0	8.0	9.0	4.0	3.0	11.0	5.0	6.0	3.0
ソフトボール	男子	8.0	3.0	3.0	5.5	3.0	9.0	3.0	11.0	5.5	10.0	5.5	5.5
	女子	3.0	3.0	3.0	5.5	5.5	9.0	5.5	3.0	11.0	8.0	5.5	10.0
水泳	男子	8.0	3.0	10.0	6.0	3.0	4.0	11.0	3.0	7.0	5.0	9.0	3.0
	女子	4.0	3.0	10.0	3.0	8.0	5.0	11.0	3.0	9.0	6.0	7.0	3.0
ゲートボール		3.0	10.0	6.0	9.0	4.0	3.0	8.0	5.0	3.0	7.0	11.0	3.0
陸上競技	男子	3.0	8.0	11.0	3.0	7.0	9.0	4.0	3.0	10.0	3.0	5.0	6.0
	女子	7.0	6.0	10.0	-	4.0	8.0	3.0	3.0	11.0	3.0	5.0	9.0
バレーボール	男子	8.0	3.0	11.0	3.0	5.5	5.5	10.0	9.0	3.0	5.5	5.5	3.0
	女子	9.0	8.0	11.0	-	3.0	3.0	10.0	5.5	3.0	5.5	5.5	5.5
テニス		9.0	5.0	7.0	3.0	4.0	6.0	3.0	8.0	10.0	3.0	11.0	3.0
卓球		3.0	6.0	5.0	3.0	7.0	3.0	11.0	8.0	4.0	10.0	3.0	9.0
バドミントン	男子	9.0	3.0	7.0	3.0	6.0	4.0	10.0	5.0	8.0	-	11.0	3.0
	女子	9.0	3.0	8.0	3.0	3.0	7.0	11.0	4.0	3.0	5.0	10.0	6.0
駅伝		3.0	4.0	11.0	3.0	8.0	9.0	10.0	7.0	6.0	3.0	5.0	3.0
合計得点		98.5	74.0	131.0	56.0	84.5	96.5	120.0	89.5	114.5	84.5	116.0	78.0
順位		5	11	1	12	9	6	2	7	4	8	3	10

平成23年度 ジュニアスポーツ 育成地域推進事業

平成23年度 立川市サッカー協会ジュニア育成主管事業
「土屋健二サッカー教室&沖村リカルドフットサル教室」報告

平成23年2月26日(土) 立川市南砂小学校グラウンドと立川市第三小学校体育館にて表題の教室を開催致しました。当事業は東京都のジュニア育成を目的とした助成金を活用し、東京都・東京都体育協会・立川市体育協会が主催し、立川市サッカー協会が主管して開催されました。

当日は宮崎章東京都議会議員、河内勝正立川市体育協会会長、須崎八朗立川市市議会議員(サッカー協会顧問)の三氏にご来臨頂き、多くの保護者の皆様の見守る中、サッカー教室とフットサル教室が開催され、楽しい中にも意義あるジュニア育成事業が国体選手を目指すべく開催されました。

午前中は「世界のリフティンク王」として名高い土屋健二氏より技術の高い球際の対応などを講師のデモンストレーションを披露頂きながら指導頂いた子どもたちだけでなく保護者の

皆さんも驚く程の技術力の高さを目の当たりにし「幼少期にレベルの高い本物の技術や人に触れること」の大切さも痛感した教室であった。

午後はシニニヤの愛称で親しまれている現役フットサル選手の沖村リカルド氏と眞名境オスカ氏をお招きしてのフットサル教室を開催した。試合中の重要なポイント指導の後、試合形式の実践トレーニングを行った。試合は各チームに両氏が入り、ゲーム運びや前半の指導内容の実践経験を積んだ。

実際にプロの選手が一人入ることでチームの動きが一変する事から当日お手伝い頂いた指導者にとっても有意義な事業であった。

今回の事業に参加した選手の中から将来の国体選手やJリーガーが育つ事を期待するものである。

サッカー協会

理事長 岩下光明



バドミントン
ジュニア育成講習会

バドミントン協会では、昨年十月・十二日と二日間の講習会を行いました。

十月はヨネックスの明石倫子さん。十二月にはバルセロナオリンピック代表の森久子さんを講師に招き、市内の中学生にバドミントンの基礎から実践につながる練習を教えて頂きました。競技中の体の使い方を説明しながらの準備体操・トレーニングから始まり、シャトルを眼で追う練習や基礎シヨットの反復練習等、普段なら辛くつまらない練習を、無理なく楽しく集中して行っていました。

実戦につながる練習でもポイントを丁寧に教え、実技中も一人一人に声を掛けアドバイスを頂き、参加した中学生に「できた」という喜びを与えてくれました。

参加者はもちろん引率の先生方、協会の役員もとても勉強になった二日間となりました。

バドミントン協会

指導部長 篠原尚子



日本マスタース水泳大会で新記録樹立

立川市水泳協会チームは、第25回マスタース水泳大会800メートルフリーリレー部門で日本新記録を樹立しました。

女子 280歳区分：谷野 石川 野口 福島
時間：16分15秒71

男子 240歳区分：寺崎 橋本 石橋 宮内
時間：11分58秒29

混合 280歳区分：石橋 谷野 宮内 野口
時間：13分52秒86

普段水泳練習ではお互い顔を見合えずとも、夢に見た新記録を達成でき、チームワークで想像を超えています。

立川市自転車競技連盟
ジュニア育成事業の報告

本連盟では立川競輪場を利用し、市内にある昭和第一学園高等学校自転車競技部を中心にジュニア強化・育成を図ってきました。特別コーチとして、元東京オリンピック代表である大宮政志氏を迎え、レベルの高い指導を行いました。結果、今年の5月に立川競輪場で行われたJOCジュニアオリンピックカップにおいて、本育成事業から1名が優勝、3名が入賞という素晴らしい結果に繋がりました。この選手達は、2年後に行われる東京国体「スポーツ祭東京2013」での活躍が大いに期待されます。これからは本連盟はジュニア強化に一層励み、国体で活躍できる選手を育成していきたいと思っています。

自転車競技連盟 諸江良則



ジュニア育成 卓球講習会

平成23年1月15日10時より、柴崎市民体育館において、平成22年度ジュニア育成卓球講習会を行いました。参加者は50名。指導は、東京都町村卓球連盟リーグ一部優勝チーム、立川大山クラブ浦崎智尚さん他3名と卓球連盟役員10名です。参加者は基本運動であるフォアハンドドライブ、バックハンドショット、ショートカットからドライブ、スマッシュへの連携プレー、

ジュニアバレーボール教室
開催報告
立川市バレーボール連盟

平成23年7月11日(日)泉市民体育館にて、小学生100名参加し、東京都小学生バレーボール連盟の指導普及委員会の中村吉宏さんを迎えて今年度一回目のジュニア教室を行いました。二回目としましては12月4日(土)立川第二中学校体育館にて、中学生8名が参加。部長中村氏、前監督小門氏を中心に警察庁バレー部の方々に指導をいただきました。

カットマン攻略のポイントなど初心者、中級者の生徒たちに分かり易い実技と指導を1コマもりました。

特にボールに全体重を乗せて放つ高速のパワードライブやそのボールを強烈な逆回転に1コ相手に返球するカットや変化の大きい多彩なサーブなど中学生にとって今後目指すべき方向や新たな目標の設定など、将来に向けて大きな方針となった、と思っております。

卓球連盟
副会長 経広敬止

います。勝つこと、楽しむこと、ケガをしないでスポーツを継続することの大切さ、自分の役割をもち責任感を身につけさせたいと指導者は思っています。

また、指導者や保護者に対して感謝の気持ちをもつことも大切と考えて指導しています。

教室当日は、ウォーミングアップからオーバーパス・アンダーパスの基本、アタック・ブロックの足の動き、レシーブ・サーブと行いました。又、それぞれのポジション別の練習もいたしました。午後からは、複合練習としてチームに分かれゲーム形式となりました。

小学生も中学生も日頃の練習を振り返りながら、午前中学んだ基礎動作を取り組みました。ゲームになると元気がで



楽しく一生懸命ボールをおいかけていました。
指導普及部長 藤井 淑江

ソフトテニス
ジュニア研修会

平成22年7月31日(土)に柴崎学習館で第2回のマインド研集会を実施した。続いて8月3日(火)には泉市民体育館で第4回のジュニア育成の実技研集会を実施した。

研修は立川市の中学生のソフトテニス指導者と選手を対象に技量が上達するために必要な心の持ち方、技術の基本を教えて貰った。

指導者は世界選手権を獲得した浅川陽介先生と中央大学田中弘監督(元東京都国体監督)にお願いした。中学指導者13名と中学生選手代表69名が参加し熱気のこもった研修であった。

実技研修は田中弘先生の4年目の研修となり、各中学の指導者にも基本技術が浸透し、正しい指導が行われている感じがする。今年の中学の大会を見てみると立川三中の実力は練習量からも東京都のトップクラスでずば抜けているが他の学校も底辺の技量が上がり、内容のある試合が多い。

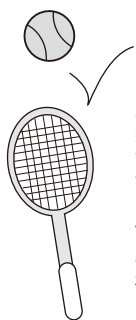
マインド研修は、選手自身が自主的にトレーニングに立ち向かうようにさせるのが指導の急所だと教えていると思う。世界一の実績に裏付けられた立川一、東京一、日本一

を目指すときの壁に挑戦する具体的な課題を教えて戴いた。この話を聞くか聞かないかで心の持ち方に大きな差があると感じた。

勝つために必要なワザを日頃から磨いておれば、本番でワザが出せると教えられた。

立川市の女子チームは現在、立川三中の卒業生が2名加わり、東京都の1部リーグに君臨している。

平成22年11月20日
立川市ソフトテニス連盟
理事長 佐藤耕司



「ソフト……」違いの 団体選手

「中西麻友選手」のプロフィールを知り得る範囲で紹介をいたします。

現在高校三年生、下刻上のきびしい東京の選手層の中で今年は苦戦をしています。

関東大会はベストファイブ、インターハイは残念ながら出場出来ず、残るは団体予選

「錦町五丁目、小路をはさんでフェンスを越えれば第七小学校の校庭、と云う極めて環境の良い家庭で育ちました。」

平成十六年度、第七小学校にクラブ活動の部として「ソフトテニス」が、大橋校長・峰尾先生(図工担当)の下に立ち上げられ、六年の父兄より指導をして欲しいと云う依頼を受け、連盟よりボランティアとして四名を派遣したのが発足の始まり、一期生は早や大学三年・中学・高校とレギュラーとして活躍をする。

さて中西選手は小学校のクラブ卒業生としては四期生となります。お母様はソフトボールの選手として活躍されたと伺っております。麻友さんが学校のクラブ選択に当たった際の指示が「ソフト」をしないといふ事でした。小学校のクラブには「ソフトボール」はなく「ソフトテニス」があった為、迷わずソフトテニスを選択しました。この



ゆめ半島千葉国体2010ソフトテニス
9月26・28日

間違いが現在の中西選手を生んだ訳です。

中学(立川三中)で、二年の春の選手権大会は二位、秋の市民大会は優勝、二年時関東大会の団体戦メンバーとして出場、冬のインドア団体戦、三年時の春季選手権優勝と、市民・10ブロック・都大会での活躍は両親から受け継いだ良きDNAの御蔭で、体力・技術・精神力をして時の運に恵まれ、平成二十二年国民大会少女の部、団体戦で残念ながら福岡県に負けましたが東京都が準優勝と云う栄冠を勝ち取ったものと思います。

ご挨拶



立川市教育委員会教育部
スポーツ振興課長

五十嵐 敏行

貴会の皆様には、日頃から本市のスポーツ行政に深いご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。
4月の人事異動でスポーツ振興課長に着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

さて、先のサッカー女子ワールドカップで日本代表の「なでしこジャパン」が優勝し、最後まで諦めない姿勢は、広く人々に感動を与え、国民栄誉賞に輝いたことはとても素晴らしいことでありました。また、スポーツに対

平成23年度 個人・団体表彰

★東京都体育協会表彰

平成23年5月8日



◆功労賞
岡崎 誠氏



◆団体表彰
羽衣町体育会



◆特別功労賞
高橋 栄氏



◆功労賞
谷口信彦氏

第45回 東京都市町村総合体育大会 開会式

羽村市生涯学習センターゆとろぎ大ホールにおいて、7月23日(土)華々しく開催、各市町村の代表が地元中学吹奏楽部の見事な演奏の下、プラカードと団旗を掲げ手拍子の中入場、開会宣言に続いてワールドカップでのなでしこジャパンの例を出され、スポーツは世間を盛り上げる強い力と勇気を与えてくれる、平成25年開催の東京多摩国体にむけ市町村における盛り上がりを目指したい等との主催者挨拶があった。

立川市に於いては、特別功労賞に前副会長の高橋栄氏と功労賞に谷口信彦氏が表彰されました。



報告とお礼

この度、東日本大震災救援物資として呼びかけをいたしましたTシャツは、お蔭様で総数 1331 着ご寄贈いただきました。

大山自治会並びに国立第2アパート管理組合に(70枚)、社団法人立川青年会議所(920枚)、直接現地(50枚)にそれぞれ物資救援として寄託するとともに、一部を市民大会開会式や泉市民体育館窓口等でチャリティー販売を行いその売上金すべて(¥90,037)を義援金として、日本赤十字社へ寄付させていただきました。

皆様のご支援、ご協力に心からお礼申し上げます。

会長 河内 勝正

平成23年度開会式表彰者一覧

◆特別功労賞

団体名	氏 名
立川市体育協会	高 橋 栄

◆優秀選手賞

団 体 名	氏 名	摘 要
ソフトテニス連盟	中西 麻友	平成22年第65回国民体育大会 ソフトテニス競技少年女子の部団体 準優勝
水泳協会	石橋 敏生	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 280才～319才 混合4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録) 240才～279才 男子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	宮内 勤	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 280才～319才 混合4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録) 240才～279才 男子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	寺崎 敏明	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 240才～279才 男子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	橋本 亘	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 240才～279才 男子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	谷野 和子	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 280才～319才 混合4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録) 280才～319才 女子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	野口 直枝	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 280才～319才 混合4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録) 280才～319才 女子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	石川イク子	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 280才～319才 女子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	福島 千代	平成22年第25回アテナマスターズ水泳競技大会 280才～319才 女子4×200m 短水路フリーリレー 優勝(日本新記録)
水泳協会	桒窪 歩実	平成22年第64回都民体育大会一般女子50m背泳ぎ 優勝
空手道連盟	萩原凜太郎	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生の部団体 第5位
空手道連盟	佐合 亮太	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生の部団体 第5位
空手道連盟	佐藤 雄一	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生の部団体 第5位
空手道連盟	山口 祐汰	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生の部団体 第5位
空手道連盟	黒田 航輝	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生の部団体 第5位
空手道連盟	松浦 拓哉	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生団体の部 第3位
空手道連盟	小嶋 春輝	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生団体の部 第3位 平成22年全国中学生空手道選手権大会 男子団体形の部 第3位
空手道連盟	森本 駿平	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生団体の部 第3位 平成22年全国中学生空手道選手権大会 男子団体形の部 第3位
空手道連盟	清水 拓臣	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生団体の部 第3位 平成22年全国中学生空手道選手権大会 男子団体形の部 第3位
空手道連盟	河野 翔一	平成22年全国少年少女武道錬成大会 中学生団体の部 第3位 平成22年全国中学生空手道選手権大会 男子団体形の部 第3位
空手道連盟	佐藤 幹太	平成22年全国少年少女武道錬成大会 小学3.4年生団体の部 第5位
空手道連盟	河野 将也	平成22年全国少年少女武道錬成大会 小学3.4年生団体の部 第5位
空手道連盟	森村 颯	平成22年全国少年少女武道錬成大会 小学3.4年生団体の部 第5位

◆功労賞

団体名	氏 名
野球協会	山 内 彦 三
野球協会	宮 川 猛
バレーボール連盟	清 野 謙次郎
バレーボール連盟	村 瀬 美四男
柔道連盟	深 田 正 幸
柔道連盟	松 村 總 平
ソフトテニス連盟	小 林 茂 雄
空手道連盟	重 松 敏 治
ゲートボール協会	長 沢 喜代志
ゲートボール協会	岡 田 満 雄
ゲートボール協会	鈴 木 喜 市
テニス連盟	加 藤 道 子
高松町体育会	平 野 廸 男
高松町体育会	森 谷 広 喜
高松町体育会	斎 藤 孚 彦
羽衣町体育会	遠 藤 佐 吉
西砂川地区体育会	鈴 木 久 米
西砂川地区体育会	樋 口 昭 男
幸町体育会	近 藤 国 男
幸町体育会	故・鈴 木 淑 巨

◆社会体育優良団体賞

体育団体名	団体名
野球協会	「立川サンズ野球クラブ」
幸町体育会	「幸町体育会ソフトバレーボール部」



平成22年度

優良選手表彰

東京日本泳法大会ジュニア団体泳法競技

★中学生の部 優勝

日本泳法全国大会ジュニア泳法競技

★秀

大塚有希子

第42回東京都少年軟式野球大会

★ベスト4

●立川ファイターズ

篠原 匠(フリーヒット・ノーラン)

佐藤 駿 南 有亮

齋藤 百浮 佐古 拓郎

宮野 和彦 野添 真輝

須崎 尚樹 田中 光明

川崎 巧毅 仲程 将人

藤原 史也 佐々木 俊仁

第27回東京都中学校バスケットボール

春季大会

★ベスト8

●立川第八中学校男子バスケットボール部

川俣 賢一 田中 優佑

平井 聡 肥後 慧祐

加藤 辰享 澤田 輝

松田 芳樹 加藤 匠

中谷 誠人 若山 和磨

第5回東京都中学生少林寺拳法大会

★女子総合の部

★女子団体演武の部

●立川第七中学校少林寺拳法部

●監督 芝田 実

★女子単独演武の部

織田 彩音

★女子単独演武の部

前田 玲美

★女子単独演武の部

山口 芽依

第7回全国子どもダンスうんどう大会

★金賞

立川キッズダンスクラブ

平成22年度東京都選抜少年サッカー大会

★ベスト8

村田 玲穂

平成22年度東京都中学生空手道選手権大会

★中学一年生組手の部

廣瀬 光

★中学二年生形の部

山川 俊樹

山口花那瑚

★小学三年生形の部

★組手の部 準優勝

内野 希

★小学五年生形の部

萩原 竜之介

★小学三年生組手の部

萩原 日向

★小学六年生形の部

芳賀 由依

★小学三年生組手の部

加賀美駿斗

★小学四年生組手の部

佐合みなみ

★小学六年生組手の部

荻原 友香

★小学五年生組手の部

奥山 紗奈

★小学五年生組手の部

奥山 諒大

★小学六年生形の部

山川 綾香

準優勝

第5位

第5位

第5位

優勝

（順不同・敬称略）
（平成23年3月31日現在）

(口数) 1口5千円

- ◆個人賛助会員
(口数) 1口1千円

- (引越特約保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社。(当国)公保第2部公保第1類
TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)
(共同引越保証会社)(平成23年4月より) 手数料なく変更となる場合があります。
引越引火 引火 引火 引火 引火 ジャパン 三井物産 東海海上日動
引火 引火 引火 引火 引火 引火 引火 引火